

第76回滋賀県中学校夏季総合体育大会

第76回滋賀県民体育大会 軟式野球の部

3



【会期】 令和5年7月21日（金）～31日（月）

【会場】 甲賀市民スタジアム
草津グリーンスタジアム
守山市民運動公園野球場
希望ヶ丘文化公園野球場
高島市新旭町森林スポーツ公園野球場
大谷公園野球場
荒神山公園野球場
浅井球場

【主催】 滋賀県中学校体育連盟、滋賀県スポーツ協会
滋賀県教育委員会、各市町教育委員会

【主管】 滋賀県中学校体育連盟軟式野球専門部

【夏季大会歴代優勝校】

西暦	回	優勝校	西暦	回	優勝校
1948	第1回	皇子山中学校(1)	1988	第41回	栗東中学校(3)
1949	第2回	草津中学校(1)	1989	第42回	聖徳中学校(5)
1950	第3回	聖徳中学校(1)	1990	第43回	石部中学校(1)
1951	第4回	長浜西中学校(1)	1991	第44回	長浜東中学校(1)
1952	第5回	栗津中学校(1)	1992	第45回	野洲中学校(1)
1953	第6回	長浜西中学校(2)	1993	第46回	水口中学校(2)
1954	第7回	草津中学校(2)	1994	第47回	甲良中学校(1)
1955	第8回	木之本中学校(1)	1995	第48回	彦根東中学校(2)
1956	第9回	栗津中学校(2)	1996	第49回	志賀中学校(1)
1957	第10回	栗津中学校(3)	1997	第50回	長浜南中学校(1)
1958	第11回	皇子山中学校(2)	1998	第51回	玉園中学校(1)
1959	第12回	聖徳中学校(2)	1999	第52回	打出中学校(3)
1960	第13回	日野西中学校(1)	2000	第53回	水口中学校(3)
1961	第14回	栗津中学校(4)	2001	第54回	八幡西中学校(1)
1962	第15回	八幡中学校(1)	2002	第55回	八幡西中学校(2)
1963	第16回	草津中学校(3)	2003	第56回	志賀中学校(2)
1964	第17回	長浜西中学校(3)	2004	第57回	安土中学校(1)
1965	第18回	彦根南中学校(1)	2005	第58回	真野中学校(1)
1966	第19回	水口中学校(1)	2006	第59回	八幡東中学校(2)
1967	第20回	聖徳中学校(3)	2007	第60回	瀬田北中学校(1)
1968	第21回	比叡山中学校(1)	2008	第61回	比叡山中学校(2)
1969	第22回	打出中学校(1)	2009	第62回	栗東西中学校(1)
1970	第23回	守山中学校(1)	2010	第63回	湖北中学校(1)
1971	第24回	彦根南中学校(2)	2011	第64回	長浜北中学校(1)
1972	第25回	栗東中学校(1)	2012	第65回	長浜北中学校(2)
1973	第26回	松原中学校(1)	2013	第66回	彦根中央中学校(1)
1974	第27回	能登川中学校(1)	2014	第67回	瀬田北中学校(2)
1975	第28回	能登川中学校(2)	2015	第68回	瀬田北中学校(3)
1976	第29回	栗東中学校(2)	2016	第69回	瀬田北中学校(4)
1977	第30回	能登川中学校(3)	2017	第70回	彦根南中学校(3)
1978	第31回	長浜西中学校(4)	2018	第71回	打出中学校(4)
1979	第32回	甲西中学校(1)	2019	第72回	玉川中学校(1)
1980	第33回	彦根東中学校(1)	2020	第73回	大会中止
1981	第34回	土山中学校(1)	2021	第74回	日吉中学校(1)
1982	第35回	能登川中学校(4)	2022	第75回	松原中学校(2)
1983	第36回	聖徳中学校(4)	2023	第76回	
1984	第37回	能登川中学校(5)	2024	第77回	
1985	第38回	中主中学校(1)	2025	第78回	
1986	第39回	八幡東中学校(1)	2026	第79回	
1987	第40回	打出中学校(2)	2027	第80回	

令和5年度軟式野球専門部【役員名簿】

【専門部長】 植村 優之 市守山

【専門委員長】 中野 誠治 愛知

【副専門委員長】 木村 義宏 瀬田

【事務局長】 西村 大地 彦根東

【会計】 森 渉 水口

【競技部】

部長 菅田 隼佑 彦根中央

副部長 伴 直樹 野洲北 門野 雄太 豊日

競技役員 永福 和雅 草津 前田 昌導 信楽 山本 泰誠 栗津 堀江 大輝 彦根西
大山 秀幸 米原

【広報部】

部長 嶋田 雄太 長浜北

副部長 所 雄大 彦根

広報役員 黒木 竜成 高穂 北村 翼 双葉 森林 雅斗 皇子山

【強化育成部】

部長 橋口 淳 新堂

副部長 道海 晃典 城山

強化育成役員 答井 詢 打出 濱田 昂平 守山南 奥村 勇太 中主 吉村 幸浩 打出

【審判部】

部長 虎山 駿太 長浜東

副部長 床枝 亮 石山

松田 慎太郎 玉川	中嶋 浩之 日枝
酒井 幸治 日吉	田附 大志 八幡西
上田 剛士 青山	木村 大佑 守山北
荻原 誠人 玉川	林 幹貴 彦根南
奥山 真也 老上	西村 章 草津
實重 峻介 明富	松宮 俊介 秦莊
山口 賢輝 浅井	小田 敏司 石部
苗村 宙希 松原	正水 崇 日野
清水 隆 中央	赤尾 悠 湖東
福原 健太 石部	前田 翔大 日枝
大川 翼 虎姫	山内 慎 永源寺

【ブロック長】 【1ブロック】

辻村 元喜 湖西

【2ブロック】

【3Aブロック】

【3Bブロック】

答井 詢 打出

木下 直翔 高穂

濱田 昂平 守山南

【4ブロック】

【5ブロック】

【6ブロック】

【7ブロック】

小田 敏司 石部

大岡 弦生 聖徳

市川 翔也 彦根南

北村 翼 双葉

【8ブロック】

伏木 和雅 長浜西

【郡司代表】 【高島】

辻村 元喜 湖西

【大津】

【草津】

【守山】

【栗東】

【野洲】

【近江八幡】

【甲賀】

福居晃太朗 栗東西

澤井 寿季 野洲

八田 和晃 近江兄弟社

中村 圭佑 甲南

【湖南】

【蒲生】

【愛知・犬上】

【彦根】

小田 敏司 石部

大岡 弦生 聖徳

尾木 一輝 甲良

市川 翔也 彦根南

【米原】

【長浜】

北村 翼 双葉

伏木 和雅 長浜西

大 会 要 項

1. 目 的 この大会は、中学校教育の一環として技能の向上とアマチュアスポーツ精神の高揚を図る。また、心身ともに健康な中学校生徒の育成に寄与し、その相互の親睦も図る。

2. 主 催 滋賀県中学校体育連盟、滋賀県体育協会、滋賀県教育委員会、各市町教育委員会

3. 主 管 滋賀県中学校体育連盟軟式野球専門部

4. 会 期 令和5年7月21日（金）～31日（月）

5. 会 場 草津グリーンスタジアム 守山市民運動公園野球場 甲賀市民スタジアム
希望ヶ丘文化公園野球場 高島市新旭町森林スポーツ公園野球場
大谷公園野球場 荒神山公園野球場 浅井球場

6. 参加規定

(1) 滋賀県中学校体育連盟（中体連）加盟校及び中体連に参加申請をし、受理されたチームで、本大会の登録を完了していること。ただし、次の条件を満たしていること。

・各チームにおける選手および監督のチーム所属はひとつとし、他の野球チームに所属している選手の大会への出場は認めない。所属の確認時期は、夏季総体登録完了日とする。

*学校そのものが軟式野球連盟に所属している場合は同一のチームとみなす。

・本大会参加にかかり、大会の途中棄権は認めない。

(2) 1チームの構成は以下の通りとする。

・中学校においては学校長が参加を認めた者**20名以内（スコアラーを含む）**、監督1名（監督は自校教職員または部活動指導員）とする。この他に部長・コーチとして最大2名を追加することができる。自校教職員でない者がコーチとなる場合は、学校長が認め、予め専門部が申請を受理した者に限る。自校教職員でないコーチのいるチームは試合前のメンバー用紙交換のときコーチ章を受け取り、コーチは試合中それを帯同すること。

・クラブチームにおいては中体連に参加申請をし、受理された者**20名以内（スコアラーを含む）**、監督1名、この他に代表者・コーチとして最大2名を追加することができる。

(3) 本大会は、次のような手順で登録選手・出場選手を決定する。

①事前に上記参加規定を満たした各チーム野球部員すべてを所定ファイルに入力し、担当者に送付することで登録完了とする。（**5月31日〆切**）この日までに登録が完了していない選手は、今大会に出場できない。

②最初の試合当日に所定の登録用紙を提出する。この登録用紙に書かれた選手は背番号1～20をつける。主将は背番号を○で囲む。

③試合前のメンバー用紙交換及び攻守決定の際に、登録用紙と共に背番号・氏名及び打順・守備位置・主将を正確に記入した用紙を4部提出し、審判員の点検を受けること。審判員は、メンバー用紙と登録用紙を確認すること。

※次の試合以降選手の変更がある場合は、前に提出した登録用紙に朱書きして訂正したもの再度各会場本部に届け出る。このとき背番号の変更は認めない。また、4回戦の出場選手を最終出場選手とするため、これ以降の出場選手の変更は認めない。

※ただし、登録メンバーが感染症（疑い）などで自宅待機等が必要になった場合は、回戦に関わらず、登録変更を可能とする。原本に交代選手を朱書きし、本部に提出する。

※出場校は4回戦までは試合終了後に登録用紙を再び預かり、次試合で再び提出する。

※準々決勝以降は、本部で登録用紙を預かる。感染症（疑い）などで変更がある場合、本部到着時に変更の旨を伝えて登録用紙に朱書きする。

また、感染症（疑い）などで自宅待機等が必要になった選手を再度登録し直す場合は、本部にその旨を伝えて、原本に交代選手を朱書きし、本部に提出する。その際の背番号変更は認めない。

7. 表 彰

- (1) 優勝チームには、賞状・優勝旗・優勝杯を授与する。
 - (2) 準優勝チームには、賞状・準優勝盾を授与する。
 - (3) 3位チーム2チームには、賞状を授与する。
 - (4) フェアプレー賞1チームには、賞状と激励品を授与する。
- (ベスト8より、専門部役員の投票により選出する。なお、該当チームなしの場合もある。)

大会会場及び試合時間予定

以下の会場を使用予定している。ただし、雨天などにより試合日程の変更がありうる。

◆大会会場

開催月日	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31
曜日	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月
試合数	20	19		12	8		4		2	1	
会場数	8	8		6	4		2		1	1	
大会○日目	1	2		3	4		5		6	7	
○回戦	1	1・2		3	4		準々決勝		準決勝	決勝	
草津グリーン	○	○	▲	○	○	▲	○				
甲賀市民	○	○	▲	○	○	▲	○	▲	○	○	▲
守山市民	○	○	▲	○			▲				
希望ヶ丘	○	○	▲	○	▲		▲				
新旭	○	○	▲	▲	▲		▲				
浅井	○	○	▲	○	○		▲				
日野大谷	○	○	▲	▲			▲				
荒神山	○	○	▲	○	○		▲	▲	▲		

○使用、▲は予備。

各会場名は、一部略称。

◇試合開始時間(1回戦から4回戦まで)

◆予定試合	開始時間(1日4試合)	開始時間(1日3試合)	開始時間(1日2・1試合)
◆第1試合	9時00分	9時00分	10時00分
◆第2試合	11時00分	11時00分	12時00分
◆第3試合	13時00分	13時00分	
◆第4試合	15時00分		

※試合の開始時間については開始予定時間より30分程度早めがある。また、天候の悪化が予測される場合は、更に早めがある。

◇試合開始時間(準々決勝以降) シートノックを行うため

◆予定試合	開始時間(1日2・1試合)
◆第1試合	10時00分
◆第2試合	12時20分
◆第3試合	
◆第4試合	

※試合の開始時間については開始予定時間より30分程度早めがある。また、天候の悪化が予測される場合は、更に早めがある。

競技規則及び競技方法 (夏季総体)

1. 競技規則

- (1) 2023年公認野球規則及び大会規定による。
- (2) 使用球は、ナガセケンコーM号球とする。
- (3) 用具・装具については、滋賀県中学校体育連盟軟式野球専門部発行の「中学校野球用具・装具規定」に適するものに限る。

2. 競技方法

- (1) 全試合トーナメント方式とし、各試合は7イニングとする。
 - また、100分の時間制を採用する。(ただし、準決勝・決勝は時間制を採用しない)
 - 100分を越えて新しいイニングには入らない。
 - 後攻チームが負けている場合、100分になってもそのイニングが終わるまでは試合を継続する。
 - 後攻チームが勝っており、100分になった場合は、その打者が終了するまでは試合を実施する。
 - 100分を越えて同点の場合、そのイニングが終わるまでは試合を継続する。
 - 100分を越えて、そのイニングが終了し同点の場合、タイブレークによって勝敗を決する。
 - *けが等による中断について
 - ・審判、役員が、治療が必要と判断した時点で時間の計測を止める。時間を止めた時点で、その旨を両校に伝える。
 - ・雨による中断においても、審判と役員の判断によるものとする。
- (2) 3回以降10点差以上、5回以降7点差以上得点差のある場合は、コールドゲームとする。
- (3) タイブレークについて
 - 無死1、2塁の状態で継続打順からスタートする。前回の最終打者を1塁走者、その前の打者を2塁の走者とし、得点の多いチームを勝ちとする。
- (4) タイブレークの適用について
 - すべての回戦においてタイブレーク方式を採用し、勝敗が決するまで行う。
- (5) 投球制限について
 - 1日の投球数を100球とする。
 - 準々決勝以降で採用とする。
 - タイブレークにも適用される。
- (6) 申告敬遠について
 - 敬遠の申告は監督のみが行うことができる。
 - 守備側の監督は、球審に敬遠する意思を伝えると、投手が捕手にボールを投げなくとも打者を四球とすることができます。
 - 敬遠の申告は、打者の打席前だけではなく打席途中でも可能であり、監督が申告した時点で敬遠四球となる。
- (7) 作戦タイムについて
 - 7イニング制においては、監督タイム・攻撃タイム・守備タイムをそれぞれ3回までとることができる。また、タイブレークでは、1イニングにそれぞれ1回ずつとることができる。
監督タイムをとるときは、監督はファールラインを越えてはならない。
- ※詳細は審判部より出されている【タイムカウント確認事項】を参考にすること
- (8) サスペンデッドゲーム(継続試合)について
 - 暗黒、降雨で試合が中止、中断された場合、イニングにかかわらず継続試合とする。ただし、大会日程等を鑑み、継続試合の実施が困難な場合は、5回を試合成立とする。その場合、大会本部より試合前に申し合わせをする。

3. その他

不測の事態が生じたとき運営部の判断により特別ルールを採用する場合がある。

大会規定及び競技上の注意事項

(1) 大会に参加するにあたって

- *スポーツマンとしての自覚をもって大会に参加する。
- *マナーを守った応援となるように、各チームで責任を持ち、事前指導、当日の指導を行う。
- *試合を行っているチームの行為が原因で、試合続行が不可能となるようなトラブルが発生した場合は、そのチームを敗者とする。
- *当日の実施・中止等の判断は、大会本部が会場責任者等と相談の上、朝6時に行い、ホームページに記載する。

(2) ベンチ入りの規定及び会場でのマナーについて

- *ベンチ入りできる者は、監督、部長、コーチ、選手20名以内とする。いずれも、登録を完了している者に限る。
- *スパイクの使用可能な場所について事前に確認する。
- *ゴミは各チームで持ち帰る。応援席も同様とする。

(3) 試合をスピーディーにすすめるために

- *遅延行為と間違えられる無用なタイムを慎む。
- *攻守交代はかけ足で行う。
- *守備のボール回しは定位置付近で行う。試合進行上禁止することがある。
- *攻守交代のときは、投手またはプレートに近い野手がボールをプレート近くに置く。
- *先頭打者とランナーコーチは、ミーティングに参加せず、直ちに所定の場所につく。
- *打者はむやみに打者席を外さず、サインは打者席から見る。
- *得点時などの握手等はベンチ内で行う。

(4) 危険防止のために

- *捕手はレガース・プロテクター・ヘルメット・スロートガード付きマスクを着用する。
- *投球練習の際（ブルペンでの練習を含む）、捕手はマスクを着用する。ヘルメット、プロテクター、レガースについては着用することが望ましい。
- *打者・走者・次打者・ランナーコーチは、両耳付きのヘルメットを着用する。
- *ピアス、指輪、ミサンガ、ブレスレット、ネックレス（スポーツ用を含む）などの装飾品は禁止する。
- *試合中、控え選手が素振りを行う場合は、イニングの交代の合間とする。ただし、ベンチ前で行うものとし、安全には充分に留意すること。

(5) その他

- *テープelingをする場合、露出する部分については肌の色に近い物を使用し事前に審判団に申し出る。投手は、投球時にボールに触れる部分と露出する部分については禁止する。
- *応援について
 - ①相手チームの選手が不快な思いをするような応援や試合を妨害するような応援は禁止する。
 - ②個人名を書いた横断幕やのぼりは禁止する。ただしチームの横断幕は可能とする。
 - ③吹奏楽や太鼓、電子機器（スピーカー）などの鳴り物による応援は禁止する。
- *監督・部長・コーチの服装について
 - ①監督・コーチは選手と同じユニフォームを着用し、監督は30番、コーチは29番または28番の背番号をつける。シューズ（スパイク）は選手と同様の色とする。
 - ②監督・コーチではない教員がベンチに入る場合は、平服（白のワイシャツまたは白のポロシャツなど）に選手と同一の帽子とする。ただし、女性の場合は考慮する。
 - ③各校管理職はスタンドでの応援のみとする。
- *ユニフォームについて
 - ①背番号を縫い付ける場合、四辺すべてを縫い付けることが望ましい。
 - ②第一ボタンを外したり、肩の部分をたくし上げたりしない。
- *大会中の負傷・疾病については、応急処置のみ行う。また、本大会は独立行政法人日本スポーツ振興センター法の定めを適用する。
- *感染拡大防止のため、スタンドで声を出しての応援は禁止とする。
試合中は、出場選手以外はマスク着用に努めること。
試合終了後は、大会役員はすみやかにベンチの消毒を行い、消毒完了後に選手の入れ替えを行うこと。

(6) 試合前

- * チームは試合開始予定時刻の1時間前を目処に球場に到着し、その旨を大会本部に申し出る。
- * ベンチは、組合せの番号の若い方を1塁側とする。
- * 第1試合のメンバー用紙交換及び攻守決定は、試合開始40分前とする。第2試合以降は、前試合の4回終了時点とする。監督と主将は、メンバー用紙を4部持参し本部前に集合する。
- * 球場内でのアップは以下の通りとする。
 - ① アップをするのは、登録選手のみとする。
 - ② 球場内でのボールを使った練習は、キャッチボール・トスバッティング・バント・ノックのみとする。
ノックについては、ベンチ前および自チーム側の外野周辺とする。センター付近を一方のチームが占領しないように注意すること。
 - ③ 試合に必要な道具の持ち込みは禁止とする。
 - ④ 球場内での服装は背番号のついたユニフォームを着用すること。
- * 用具・装具については、試合前に審判員の確認に応じる。
- * シートノックについては以下の通りとする。
 - ノックカーリについて
 - ① 選手と同一のユニフォームを着用し、選手と同様の色のスパイク、トレーニングシューズを着用する。
 - ② サングラスは使用しない。医療目的等で使用する場合は、トスの時に申し出て、本部、相手チームの了承を得る。
 - ③ 手袋は黒、白の単色とする。
 - 夏季総体県大会
 - ① 準々決勝以降に行い、時間は5分以内とする。状況によっては行わない場合もある。
 - ② 後攻チームが先に行う。
 - ③ シートノック時に、マウンド及びマウンド付近には入らない。
 - ④ 補助員をつける場合は、5名以内とし、ヘルメットを着用すること。活動場所は、ファールグラウンドとする。
 - 秋季中央合同
 - ① トーナメントの都合上、同日で二試合行うチームは、最初の試合でシートノックを行う。
及び、夏季総体県大会(上述①～④の内容)を適用する。
- * ~~試合のはじまりと終わりのあいさつは、主将がバッターボックス横に立ち、他の選手はダートサークルからそれぞれの墨線に沿って整列する。~~

(7) 試合中

- * イニング交代の際、次の攻撃の先頭打者はネクストバッターサークルで待ち、相手投手の投球練習が終わ次第速やかに打席に入ること（相手投手の投球練習中には打席付近に立たない。）
- * 次打者は、ネクストバッターサークル上では立って待つこと。素振りをする場合は投球間のみとする。
- * 選手交代の申し出は監督が行う。
- * 監督はタイムを取り、グランドに出て指示を与えることができる。ただし、ファールラインを超えてはならない。
- * 選手以外はコーチスボックスに入ることはできない。
- * 規則適用上の疑義に対しては、当事者または主将が直接質問することができる。
- * 走者・ランナーコーチ・ベンチ、スタンドから、球種などを知らせることを禁止する。
- * メガホンは監督のみ使用することができる。
- * 投手の準備投球は、初回と交代時が7球以内、他は3球以内とし、速やかに行うこと。
ただし、状況により審判の判断で考慮する場合もある。
- * 突発事故が起きて臨時代走を用いたい場合は球審に申し出る。審判団が必要と認めた場合は許可する。臨時代走は、投手と捕手を除く前位打者とする。

(8) 試合後

- * 試合終了のあいさつをもってすべてを終了とし、速やかにベンチを空ける。
- * 各チームの監督は、試合終了後本部にて、次の試合の日程や連絡事項の確認をする。